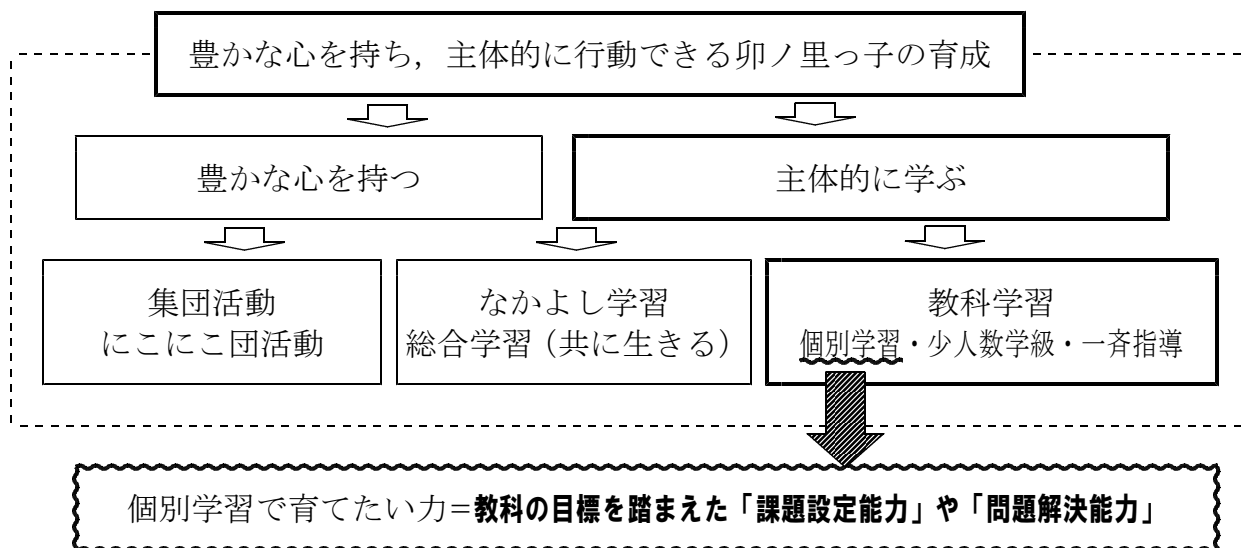


# 平成25年度の 研究の方向性

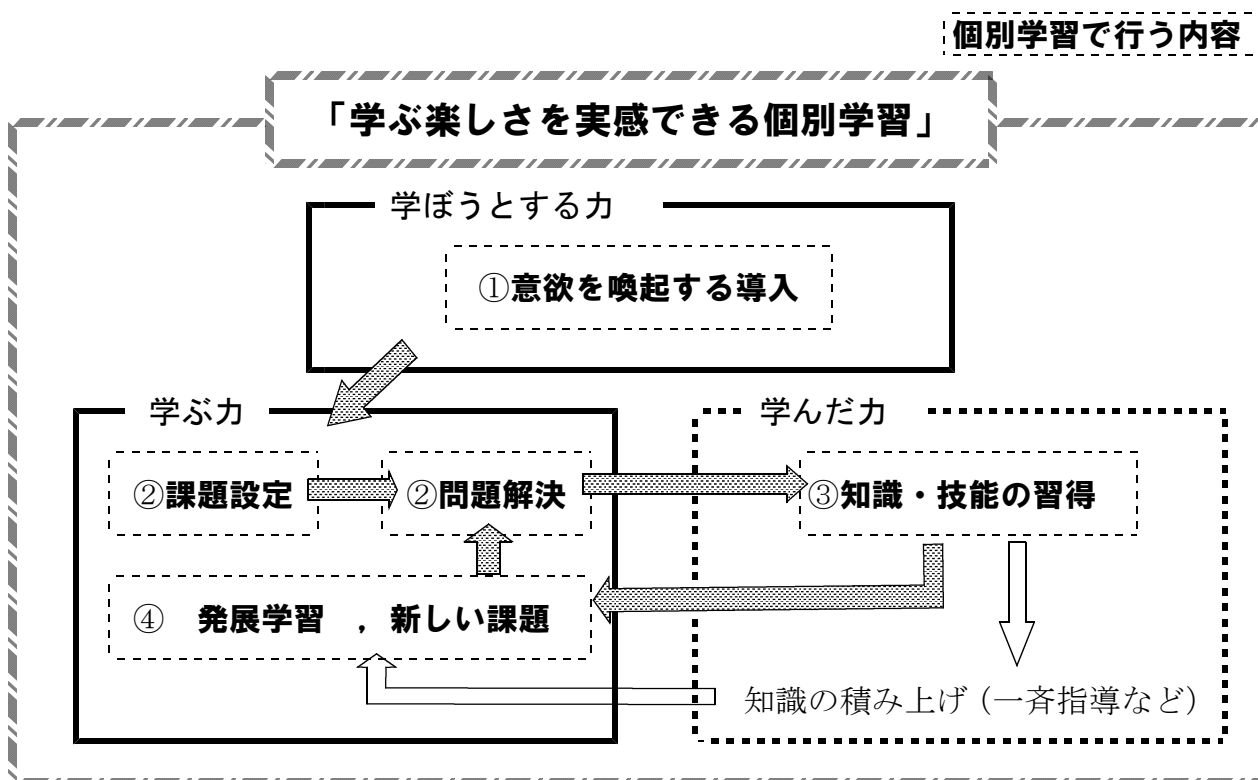
## 1 本校の教育目標から導かれる研究



○にこにこ団活動や共生きの立場は、従来の3本柱としてやっていき、職員間の共通理解をさらに深める必要がある。授業研究については、個の学びを充実させるために、個別学習を中心に全校体制で行う。

## 2 研究のねらい

「23年度教員研修の手引き」第4章「生きる力をはぐくむ教育」参照



(1) 学ぶ楽しさを実感できるようにする手だてと期待する効果

- ① 意欲を喚起する導入により，学ぼうとする力が高まる。
- ② 課題設定や問題解決における手だてを工夫することにより，学ぶ力が高まる。
- ③ ②により，知識・技能の習得を図り，学んだ力が高まる。
- ④ ③発展学習や新たな課題に取り組み，学ぶ力がさらに高まる。また，知識の積み上げをすることで，新たな課題を見いだすことができる。

学年の発達段階に応じて，同じ学習パターン（導入～課題づくり～追究）を**繰り返し**行うことで，個別学習において，学ぶ楽しさを実感できる子が育つのではないかと考える。（単年ではなく長期的に）

(2) その他

- 抽出児の設定をパターン化し，個々に寄り添い，具体的ななかかわりの中で検証していく。そのことにより，同じ手だてを必要とする他の子たちにも良い影響が与えられる。教師はその引き出しを多く持つことで，教師の指導スキル能力が高まるのではないかと。

### 3 H22～25年度の研究テーマ（案を含む）

研究テーマ

<特に取り組むべき点>

○22年度  
「人間性豊かで，主体的に学ぶ子どもの育成」  
（重点目標）  
「学ぶ楽しさを実感できる個別学習」  
～子供の意欲を喚起する導入の工夫と課題づくりを通して～

導入における体験活動や話し合い活動の充実  
<導入の工夫>

○23年度  
「学ぶ楽しさを実感できる個別学習」  
～一人一人の思いを課題に結びつけるための，手だての工夫～

個に応じた課題づくりの手だてを中心に考える。  
<課題づくりができる導入>

○24年度  
「学ぶ楽しさを実感できる個別学習」  
～学習課題を設定し，追究し，まとめる手だての工夫～

学習課題づくりが，追究活動にどう生かされたか。  
<課題を追究に結びつける>

○25年度 <案>  
「学ぶ楽しさを実感できる個別学習」  
～学習課題を設定し，追究し，まとめる手だての工夫～  
（町現職発表に向けて）

学習課題づくりや追究活動を充実させることにより，学ぶ楽しさを実感できたか。  
<24年度の検証とまとめ>